

【祝】高橋五郎会長に「令和六年度地域文化功労者表彰」

東北支部 佐々木敬二

明けましておめでとうございます。

新年早々、会員の皆様にうれしい報告があります。

去る令和6年11月、文化庁から「令和六年度地域文化功労者表彰」の発表があり、当連盟会長（東北支部長）の高橋五郎先生が地域文化功労者（芸術文化）に選ばれました。11月20日（水）に京都市内で表彰式があり、阿部俊子文部科学大臣から表彰状を授与されました。心からお祝いを申し上げます。

この表彰は、「永年にわたり地域の文化振興に功績のあった個人及び団体に対してその功績をたたえる」ことを目的に行われるものです。令和6年度の功労者は97件で、内訳は個人が82名（芸術文化59、文化財保護23）、団体が15団体（芸術文化2、文化財保護13）です。功労者名簿において、高橋先生は「マンドリン奏者、一般社団法人日本マンドリン連盟会長、元公益社団法人宮城県芸術協会理事」と紹介され、功績概要には「永年にわたり、マンドリン奏者として優れた活動を行うとともに、一般社団法人日本マンドリン連盟会長等を務め、地域文化の振興に貢献している」と記されています。また、宮城県芸術協会の会報『はなやま』第239号において、受賞を讃える記事の中で、「高橋氏は仙台市出身。長年にわたり、マンドリン奏者として優れた活動を行うとともに、（一社）日本マンドリン連盟会長等を務め、現在もマンドリン合奏団『チルコロ・マンドリニスティコ・フローラ』を主宰し、毎年、定期演奏会を開催している。」と紹介されています。

表彰を受けて、高橋先生は、「寝耳に水で本当に驚いた。マンドリンはマイナーな楽器というイメージがあるので、こうして公に認められたことは大変うれしい。この表彰状は日本のマンドリン界を代表していただいたものと思っている。マンドリン音楽を世の中に広げていくため、今後も尽力していきたい。」と喜びを語っていらっしゃいます。高橋先生は、イタリアマンドリン音楽に真に精通した演奏者・指導者であり、イタリアの埋もれた名曲を数多く発掘して自ら演奏するとともに、多くの海外の著名演奏家と交流を重ねその招聘にも尽力されてきました。また、日本マンドリン連盟の立ち上げ当初から連盟の運営に深く携わり、日本マンドリン独奏コンクール等の事業を積極的に推進してこられました。

今回の表彰は、日本中のマンドリンにかかわる個人・団体にとって、大いに勇気づけられるものとなったと思います。会員の皆様と喜びを共有するとともに、マンドリン音楽の発展のために活動していくことを誓い合いたいと思います。



高橋先生、本当におめでとうございます！